

第 11 回 下野市行政改革推進委員会会議録

日 時 平成 23 年 11 月 7 日（月） 午後 1 時 30 分～4 時 30 分
場 所 下野市保健福祉センターゆうゆう館会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、金子伸禄委員、田辺伸一委員、渡辺欣宥委員、関口博之委員、前原保彦委員
欠席委員 高山忠則委員
出席者 (教育委員会)
鶴見教育次長、小平教育総務課長、渡辺学校教育課長、黒川生涯学習課長、稲葉文化課長、鈴木スポーツ振興課長
(総合政策部)
川端総合政策部長
事務局 上野総合政策課長、星野主幹兼課長補佐、金田主幹、古口副主幹、古口主査
傍聴者 なし

○次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1)会議録署名人の指名
 - (2)行政評価市民評価ヒアリング
 - (3)その他
- 4 閉会

○あいさつ

(杉原会長) 今回は第 11 回目の下野市行政改革推進委員会になります。
本日もよろしく申し上げます。

○議事

(1) 会議録署名委員の指名

(杉原会長) 会議録の署名委員の指名を行います。本日の署名委員は、渡辺委員と田辺委員にお願いします。

(2) 行政評価市民評価ヒアリング

(杉原会長) 市民評価ヒアリング資料に基づき説明をお願いします。

○教育委員会 8 事業 鶴見教育次長及び担当課長から事務事業の概要説明

① 小学校給食共通管理事業

(渡辺学校教育課長) この事業は、小学校 12 校の学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供することを目的としています。事業内容としては、給食調理業務の民間委託や、市調理員の細菌検査、調理室の防虫や清掃などを実施しています。総事業費の内訳を見ると、給食調理業務民間委託料が 40,000 千円余りと大きく、食器の買い替えなどの消耗品費や、備品購入費などを合わせた共通管理費は 44,099 千円となっています。本事業は、教育の一環としての食育を通じた正しい理解などを育成する上で大きな役割を担っており、その必要性は高いと考えています。

② 小学校コンピュータ管理事業

(渡辺学校教育課長) この事業は、小学校 12 校への情報教育機器の導入により、情報活用能力を高めることを目的としています。事業費を見ると、小学校へ導入しているコンピュータ 889 台の借上料や、サーバ等の保守業務委託料などがあります。平成 23 年度決算見込額は 55,264 千円ですが、一部の小学校において更新機器の設計内容を精査した都合により、導入（借上げ）時期が後にずれただため、最終的には 900 万円程度の減額となる見込みです。

③ 古山小学校校舎改修事業

(小平教育総務課長) この事業では、昭和 56 年の新耐震基準前に建築された小学校について、耐震補強と施設改修を行っています。古山小学校では、2 棟ある教室棟うち管理教室棟については既に耐震補強・大規模改修を行っており、今年度はもう 1 棟の特別教室棟について、鉄骨ブレースによる補強工事を実施します（資料の図面中で赤く示した箇所）。大規模改修は平成 24 年度に実施する予定であり、予算としては 97,000 千円を見込んでいます。内容としては、高効率型照明器具や省エネ・環境に配慮した設備の投入、トイレの洋式化、屋根の防水、外壁のモルタル剥離への対処など、現在、改修箇所の精査を行っています。

④ 南河内公民館管理運営事業

(黒川生涯学習課長) この事業は、公民館が住民自らの生涯学習の場として積極的な活用されるよう、その環境整備を行うものです。事業概要としては、社会教育の中核的施設である公民館があらゆる世代に親しまれるようにするため、講座の開催や自主サークルの支援などを実施するとともに、公民館の管理運営を行っています。講座としては、平成 23 年度は家庭教育・青少年教育や成人・高齢者・団塊の世代セカンドステージ支援講座など 15 講座を企画し、373 名の申込みがありました。また、平成 22 年度公民館の利用者は、32,648 人になり前年度と比較して 2,273

人増加しております。

⑤ 国分寺図書館管理運営事業

(黒川生涯学習課長) この事業は、地域を支える情報拠点目指し、これまで図書館を利用してこなかった方の利用促進を図るとともに、市民の自主的学習や多様な資料・情報の要求に応えるためあらたな資料の受入れを行い、図書館サービスの充実を実現することを目的としています。総事業費の主な内訳としては、消耗品費(雑誌・視聴覚資料の購入)が1,340千円、光熱水費が2,760千円、委託料(施設管理)が855千円となっております。なお、昨年度決算額に比べて今年度の見込額が少ないのは、昨年度は図書館用のライブラリーバッグの購入費用として約500千円が計上されていたためです。

⑥ 運動場管理事業

(鈴木スポーツ振興課長) この事業は、運動公園の良好な維持管理を行い、スポーツを通じてふれ合う環境を整備することを目的としています。施設としては、運動場の他に、体育館が4つ、武道館が4つ、弓道場が2つ、プールが2つ、そしてスポーツ交流館があります。運動公園等の利用者数の詳細は資料のとおりで、定期利用団体の登録数は110団体、登録人数にして2,468人となっています。

今年度から別処山・大松山・国分寺の3公園の樹木管理の委託料等が計上されているため、昨年度決算額に比べて今年度の見込額が大きく増えています。なお、総事業費の内訳の中で、消耗品費とは石灰や清掃用品等になります。

⑦ 史跡下野国分寺跡保存事業

(稲葉文化課長) この事業では、大正10年に指定された国分寺史跡について、平成11年度から調査を行い、平成18年度から整備工事を行っています。この史跡整備に併せて、史跡の保護管理を行っています。事業の内容としては、史跡整備委員会の開催、国分寺跡の見回り監視、公有地の除草・清掃、植栽管理といったものになっています。なお、監視や除草・清掃に要する費用の5分の4については、国庫補助により賄われています。総事業費の内訳としては資料に記載されたとおりですが、平成22年度決算額に比べて平成23年度の見込額が大きいのは、史跡の植栽工事が進捗したことに伴い、その維持管理業務の委託料が増加したためです。

⑧ 下野薬師寺歴史館管理運営事業

(稲葉文化課長) この事業では、平成13年度にオープンした歴史館と、史跡の広場の管理運営を行っています。国指定史跡である下野薬師寺跡に関する資料を公開し、史跡の解説と活用を図りながら、薬師寺を市民の憩いと歴史に親しむ場にするを目的としています。事業の内容としては、

2名の嘱託員と40名のボランティアによる史跡・展示物の解説、ペニバナ染めの体験教室、史跡まつりなどを実施しています。また、平成23年度からは、地元の薬師寺小学校の「ふるさと学習」の一環として、史跡内の清掃やえごまの移植なども行っています。歴史館への入館者数の推移を見ると、平成20年度が5,403人、平成21年度が6,173人、平成22年度が6,115人で、平成23年度は10月末時点で4,130人と増加傾向にあり、これは道の駅の開所による効果もあるかと考えています。事業の説明は以上となります。

(杉原会長) 説明のあった8事業について、順次、委員の皆様からご意見やご質問をお願いします。

① 小学校給食共通管理事業に係る質疑

(飯島委員) 調理業務を委託しているのは4校との説明でしたが、それ以外の小学校では給食員が調理していますか。

(渡辺学校教育課長) 市職員である調理員が給食を作っています。

(飯島委員) 給食室の清掃・防虫業務を委託しているのは8校とのことですが、残りの4校はどのようにしていますか。

(渡辺学校教育課長) 4校の給食については、国分寺給食センターで調理して運んでおり、給食センターの経費は給食センター管理事業として計上されています。

(金子委員) 事業費をみると毎年度2%程度増加していますが、生徒数が増えているなどの事情がありますか。

(渡辺学校教育課長) 給食用食器を計画的に購入するなどしているため、増加しています。

(渡辺委員) 先ほどの給食センターとは、市が管理している施設なのですか。

(渡辺学校教育課長) 市の職員と委託の職員とで運営しています。

(前原委員) 給食について、長野県では給食に小魚を入れるなどの取り組みがありますが、下野市では何か取り組みをしていますか。

(渡辺学校教育課長) 食育の指導の中で好き嫌いをしないようにしています。この中で小魚を含めて行っています。

(鶴見教育次長) 栄養士が定期的に打合せを行い、共通献立を作っています。その中で栄養的なバランスや地産地消などを考慮しながら進めているかと思えます。

(関口委員) 給食センター方式と自分の学校で調理する方式とで、メリット・デメリットなどの比較検討は行っていますか。

(渡辺学校教育課長) 平成21、22年度に、学校給食検討委員会において検討しました。

(鶴見教育次長) センター方式と自校方式の使い分けについては、学校ごとの児童数や

センターからの距離の違いなど、ケースバイケースで検討した結果、現在のように4校がセンター方式、8校が自校方式となっています。

(杉原会長) 効率性の視点として、「市学校栄養士会の活動を参考とし」と記載されていますが、具体的にはどのような連携をとっていますか。

(鶴見教育次長) 栄養士会において献立の検討などを行うとともに、調理業務に携わる調理員との連携を図っています。

(杉原会長) 次の小学校コンピュータ管理事業に移ります。

② 小学校コンピュータ管理事業に係る質疑

(渡辺委員) 事業費の中の借上料はパソコンのみですか、あるいは周辺機器等も含まれているのですか。

(渡辺学校教育課長) 市内の小学校全校で使用しているパソコンと周辺機器等を含めた借上料になります。

(渡辺委員) 借上料からパソコン1台あたりを算出すると高額な印象がありますがどうなのでしょう。

(渡辺学校教育課長) 5年間のリース契約として行っており教育ソフト料も含まれています。

(金子委員) リース料契約にはハード部分とソフト部分があると思いますがどうなっていますか。

(渡辺学校教育課長) リース契約の内訳にはハード・ソフトの部分はありますが、合わせて1つとして契約しています。

(鶴見教育次長) 借上料等には、パソコンのみではなく、サーバや周辺機器等の複数のシステムに係る費用も含まれており、一概には判断できないかと考えています。

(関口委員) コンピュータの導入台数は889台とありますが、これは妥当な台数なのでしょうか。また、国分寺地区(224台)と南河内地区(358台)で台数に開きがあるのは何故ですか。

(渡辺学校教育課長) 各学校にパソコン教室として41台のコンピュータを置くなどしており導入台数は妥当と考えます。また、地区毎の台数の違いは、国分寺地区(3校)と南河内地区(5校)で小学校数が異なっているためです。

(渡辺委員) パワーポイントで発表といった利用内容を考えると、必ずしも新しいパソコンである必要はないと思われます。業者から購入するとあくまで定価になってしまうので、維持管理はともかくとしてパソコンの購入については検討すべきであることを申し添えます。

(杉原会長) 次の古山小学校校舎改修事業に移ります。

③ 古山小学校校舎改修事業に係る質疑

(金子委員) ヒアリング資料に記載されている事業費などに国の補助金等は含まれていますか。

(小平教育総務課長) 耐震補強工事、大規模改修工事ともに国からの交付金が含まれており、基本的に耐震補強については費用の2分の1、大規模改修については費用の3分の1が交付金の対象となっています。

(飯島委員) 校舎の定期点検などは行っていますか。

(小平教育総務課長) 機械設備については毎年点検を実施していますが、建物については定期的な点検は行っていません。建物の修繕という意味では、必要箇所の洗い出しをした上で、計画的に危険度の高い順から修繕しています。

(関口委員) 校舎については今回で完了するが、4つの体育館の耐震補強が残されているという説明がありました。体育館は災害時の避難場所に指定されているものばかりですが、今後の見通しはどのようになっていますか。

(小平教育総務課長) 児童が長い時間使用する校舎について、優先的に耐震補強を行ったところです。体育館については、現在2次診断を行っており、その結果に応じて改築か耐震補強かを判断する状況にあります。

(杉原会長) 次の南河内公民館管理運営事業に移ります。

④ 南河内公民館管理運営事業に係る質疑

(関口委員) 南河内公民館管理運営事業に関連して、昨年度は石橋公民館管理運営事業の評価を行いました。委員からの意見はどのように反映されたのですか。

(黒川生涯学習課長) 昨年は石橋公民館についてご意見等をいただきました。その中で指定管理者制度の話もありました。現在まで公民館の事務効率化や機能集約等について検討し、機能充実を図るために公民館4館の事務の取りまとめ役として石橋公民館を幹事館とし、館長を置くなどの対応をとりました。なお、今後の公民館の在り方については、公民館運営審議会において検討していきたいと思っております。

(関口委員) 公民館活動は良いと思うし、今後も発展させて欲しいと思っておりますが、公民館が充分にあるのか、あるいは業務を集約化した方がよいのか、そのことについてよく検討を行ってほしいと思っております。

(渡辺委員) 指定管理者制度の話題が出たので改めて尋ねたいが、導入は難しいですか。審議会や検討委員会等へ諮問せずに行政単独での決断というわけには行かないのですか。

(黒川生涯学習課長) 公民館運営審議会は社会教育法の中で組織化されており、その審議会の意見を聞くことになっておりますので、行政単独でということは難しいのですが、行政の考え方を整理し、また審議会の意見等を踏まえながら、今後の方針を決めていきたいと考えています。

(杉原会長) 次の国分寺図書館管理運営事業に移ります。

⑤ 国分寺図書館管理運営事業に係る質疑

- (渡辺委員) 国分寺図書館管理運営事業について、効率性の欄に「指定管理者導入等」とありますが、検討状況はどのようになっていますか。
- (黒川生涯学習課長) 10月に図書館長が図書館協議会に対して諮問を行ったところで、その答申が1月下旬に出されることになっています。それを受けて、指定管理者や委託管理、職員の配置などについて検討したいと考えています。
- (金子委員) 指定管理者となった場合、地元といった地域性は考慮されるのでしょうか。
- (川端総合政策部長) 現在、市の施設で指定管理者となっているもののうち、例えば、駅隣接の駐輪場はシルバー人材センター、天平の丘公園内のレストハウスしもつけは地元で管理運営をお願いしています。図書館についても地元の団体をお願いしたいところですが、施設の規模や性格によっては、外部に委託せざるを得ないかもしれません。
- (金子委員) 意図の欄に「あたたかみのある手作り図書館」や「図書館を利用してこなかった人々の利用促進」とありますが、それぞれ具体的にはどのようなことですか。
- (黒川生涯学習課長) 「あたたかみのある手作り図書館」としては、ボランティアの方と一緒に図書館まつりを開催したり、自治医科大学附属病院と連携して医療関係のコーナーを設けたりしています。「利用促進」としては、広報紙や市のホームページで呼びかけて行きたいと考えています。
- (金子委員) 本離れというのが言われておりますので、利用者増加の工夫をして欲しいと思います。
- (田辺委員) 図書館利用者のうち、小学生の利用はどのくらいでしょうか。
- (黒川生涯学習課長) 年齢別のデータはありませんが、利用者は特に夏休みが多いようです。
- (杉原会長) 最近では、図書館にある本を読むことで情報を得るより、インターネットで情報を収集することが増えていると思います。一方ではパソコン教育を推進しており、他方で図書館利用促進をしている。これは二律背反であると思います。入館者数が減少傾向になるかもしれない中での指定管理者制度の導入は、利用者数の増加が見込めるのか、または減少する前提で対応して行くのかがわかり難いと思います。かつての委員会行政から、最近は委託行政と言われるようになっていますが、指定管理者制度には問題点があり、安易にはできないと思います。特に個人情報の管理に注意しなければならないと思います。
- (黒川生涯学習課長) 指定管理者制度を導入した場合については、休館日を無くすことや貸出時間の延長も考えられると思いますので、利用者が増加すると考えられます。また、個人情報については十分注意しながら管理するようになると思います。

(杉原会長) 次の運動場管理事業に移ります。

⑥ 運動場管理事業に係る質疑

(田辺委員) 資料の利用状況で、東部運動広場とゲートボール場の利用が年度中途から全くありませんが、何らかの事情があったのですか。

(鈴木スポーツ振興課長) 東部運動広場については、10月以降にサッカー場の整備工事を行ったことによるもので、ゲートボール場については7月以降の利用が無かったためです。

(関口委員) 施設の利用料金はこの事業費に充てられていますか。また、これまでは各施設で行っていた貸し出しを一箇所に集約したと思いますが、その結果はどうになりましたか。

(鈴木スポーツ振興課長) 施設の利用料金は事業に充てられています。また、パソコンを利用したシステム化により、施設の利用手続きは3箇所のどこでも可能で時間短縮も図れました。

(関口委員) 3箇所とはどこになりますか。

(鈴木スポーツ振興課長) 国分寺海洋センター、南河内体育センター、スポーツ交流館の3箇所になります。

(関口委員) 施設予約の場合により、国分寺海洋センターではなく、スポーツ交流館でなくては予約できないケースがありましたが何故ですか。

(鈴木スポーツ振興課長) 大会や練習試合の場合は、スポーツ交流館での手続きをお願いしています。

(関口委員) せっかくパソコンを導入していますから、どこからでも手続きができるように改めるべきだと思います。

(鈴木スポーツ振興課長) その点については検討いたします。

(杉原会長) 次の史跡下野国分寺跡保存事業に移ります。

⑦ 史跡下野国分寺跡保存事業に係る質疑

(飯島委員) 効率性の欄に「地元協力会やボランティア等の団体を組織し」とありますが、既に具体的な取り組みを行っていますか。

(稲葉文化課長) 地元協力会としては、西小学校のPTA、甲会及びフラワー会(2団体ともに元地権者団体)の3団体があり、落ち葉さらい等の清掃活動を行っていただいております。今後も継続していく予定です。下野国分寺跡周辺には観光ボランティアという約20名の団体があり、これらの団体のご協力をいただき、年間を通しての史跡の維持管理に従事していただければと考えています。

(飯島委員) 下野薬師寺歴史館の観光ボランティアは、活発に行っていると思いますが、下野国分寺跡の観光ボランティアは大変だと伺っています。国分寺や薬師寺などの史跡のボランティア同士の交流を図るなど、活動を活発化させていただきたいのですが、教育委員会としてはどう関わっていきますか。

(稲葉文化課長) 県のしもつけ風土記の丘資料館のボランティア友の会、下野薬師寺歴史館には薬師寺ボランティアの会があり、定期的に勉強会等を行っています。下野国分寺跡は現在整備中であり、今後、ボランティア組織を立ち上げたいと考えていますが、現在、核となる組織は観光を主眼としたものであり、他のボランティア組織と交流しながら、下野国分寺跡及び周辺の歴史解説ができる組織の立ち上げを考えています。

(杉原会長) 次の下野薬師寺歴史館管理運営事業に移ります。

⑧ 下野薬師寺歴史館管理運営事業に係る質疑

(金子委員) 道の駅の開所により歴史館の利用者が増えたとの説明がありましたが、道の駅やそれを所管する商工観光課との連携は行われていますか。

(稲葉文化課長) 道の駅にあるインフォメーションセンターに文化財のパンフレットを置いており、現在は嘱託員手作りの歴史観光ルートマップを作成しています。また、道の駅と商工観光課と文化課の三者で連携し、スタンプラリー等の催しも行っています。

(杉原会長) 全体に対して、質問等がありましたらお願いします。

(渡辺委員) 運動場管理事業について、平成22年度と平成23年度の事業費を比較すると3,000万円増額していますが、3施設の樹木管理が追加されたからと説明がありましたがそれだけなのでしょうか。

(鈴木スポーツ振興課長) 樹木管理は、昨年度までは都市計画課が実施していた事業ですが、今年度から当課での取扱いとなったため、予算が増加しています。

(飯島委員) 小学校コンピュータ管理事業について、購入先と修繕先は同一でしょうか。また、契約業者は一社でしょうか。

(渡辺学校教育課長) 修繕は購入先に依頼するのが一般的と考えます。なお、地区ごとに入札を行い、落札業者と5年間の契約を結んでいます。

(杉原会長) 他になれば、ヒアリングは終了し、委員会の審議に移ります。

○委員会審議

(渡辺委員) 前回も話しましたが、ヒアリング資料には、評価を下すことができるような数値をもっと入れ込んでほしいと考えます。

(金子委員) 私も前回話をしたことなのですが、経営管理ができていないと言わざるを得ません。また、国の補助、県の補助、一般財源など、事業費の財源区分を記載してもらいたいと思います。

(関口委員) 品質管理や工事管理などの手法が示されないことには、金額が適切かどうかといった判断が難しいので、善処してほしいと思います。また、公民館は4つ存在しますが、石橋の勤労センターや生涯学習情報センターなど、市民にとって公民館と似た施設があるので、それらを整理

してもらえればと思います。

(前原委員) 本日は図書館や公民館の事業がありました。温浴施設を含めた類似施設の統廃合について、以前からプロジェクトチームを組んで検討してきたはずですが、その結果が明らかにされていません。行政の対応を見ていると、真摯に向き合っていないのではないかと思います。本日の図書館や公民館の事業についても、検討の結果どうなったのかといったことを明白にしてほしいと思います。

(金子委員) 合併したから類似施設を統廃合すべきとは、一概には言えないと思っています。サービスの水準を維持しながら、いかにコストを下げるかということを考えるべきだと思います。

(川端総合政策部長) 評価するための指標については、前回から分かりづらいという指摘がありました。例えば、対象事業件数を絞った上で詳細なヒアリングを行うということも検討しようという思いもあります。対前年度の数値や事業の収入・財源についての資料は、可能であれば追加したいと考えています。

類似施設の統廃合については、温浴施設では3つの施設がそれぞれの機能に特化していくことを考えており、今年度中には方向性を見い出したいと考えています。その他の施設についても、サービスの水準を維持しながらコストを下げるということを考えて検討を行っており、できる限り早く方向性を出したいと考えています。

(杉原会長) 今回のヒアリング資料は見やすくまとめられているかと思いますが、必要性・緊急性・効率性の箇所に書き込む内容と、説明用の資料について更なる工夫が必要だと考えています。短い時間で30事業を評価していかなければならないことを考えると、兼ね合いが難しいかもしれません。先ほど事務局から話のありました対象事業の絞込みについては、それも1つの方法ではないかと思っていますので、今後委員の皆様のご意見をいただければと考えています。

(4) その他

(杉原会長) その他で何も無いようでしたら、本日の会議はこれで終了とします。お疲れ様でした。

以上